



JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
Japanese Association of Social Workers in Health Services

平成 29 年 12 月 27 日 第 7 巻 (第 4 号)

発行：東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害支援チーム TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

Mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

もくじ

1. 被災地石巻市での支援活動に参加して
2. 石巻現地から ～ 2017 年を送る ～
3. 新職員を迎えて
4. 新職員自己紹介
5. 災害支援チームからのお知らせ
6. 災害支援ニュース発行のお知らせ
7. あとがき



## 発売のお知らせ

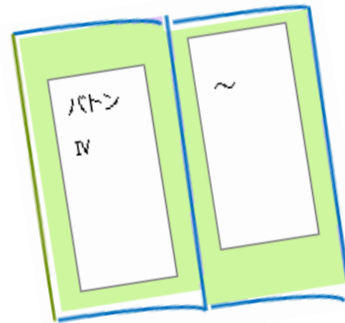
「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援の

バトンⅣ」

が発売されました！！

詳細は、協会ホームページ

及び 【1. 書籍販売】をご覧ください。



石巻現地職員を募集しています！！

詳細は協会ホームページ「石巻・現地職員募集中」にてご覧ください。

《 平成 29 年 11 月 30 日現在 支援活動地域別 仮設住宅報告 》

( 宮城県保健福祉部震災援護室 入居状況抜粋 )

### 石巻市応急仮設住宅現況報告

応急仮設住宅（プレハブ住宅）入居状況 （集約化進行中）

入居戸数	1,257	戸
入居人数	2,501	人

応急仮設住宅（民間賃貸借上住宅）入居状況

入居戸数	1,062	戸
入居人数	2,420	人

## 1. 被災地石巻市での支援活動に参加して

平海病院

医療福祉科 畑中 良子（元災害支援チーム）

一年前の今頃はケースや業務の引継ぎと自身の引越し作業に追われていました。大阪に戻り、一年が過ぎようとしませんが、こちらで生活していると石巻を始め、東北の復興状況の情報が殆ど入ってこない現状があります。

そのような中、10月28日には大阪医療ソーシャルワーカー協会の研修で、11月16日には精神保健福祉士を目指す専門学校で、12月1日には兵庫県医療ソーシャルワーカー協会の月例会で災害支援活動について話す機会をいただきました。「災害ソーシャルワークについて話して欲しい」というようなリクエストがありました。私が日本医療社会福祉協会石巻事務所に在籍した2013年4月～2016年12月までの期間を中心に宮城県石巻市での活動に限りますが、現地でどのような活動をしてきたか、地域がどのように変化してきたか、について話をいたしました。参加者は現地で、どのような活動が行われていたかをご存知ない方が多く、実際の活動内容を聞き、「具体的にイメージが沸いた。」「病院内での自身の仕事にも通じる部分があった。」という声が聴かれました。私の活動の場は「災害で被害を受けた地域」でしたが、活動内容としては私たちが普段働いている「病院」や「施設」と大きくは変わらない事も伝えられたと思います。現地で行って

いるのは、その方の『生活』を捉え、ソーシャルワークを実践していく事だと思います。

また、災害が起こる前に組織のソーシャルワーカーとして出来る事、地域住民として出来る事、個人単位として出来る事についても考えていただける機会になったのではないかと思います。それぞれの現場で業務を抱えながら、防災について行動を起こしていく事は、難しいかもしれません。普段、連携を取る中で、周りの施設と災害が起きた時に自分の施設はどのような役割が担えるのか？を話し合う、施設内のスタッフの役割はどのようになるのか？などを確認する、災害マニュアルの整備や見直しを行う事も一つだと思います。自分たちが出来る範囲で災害対策を行っていきませんか？



被災地＝未知の世界で、災害支援に行かれる事を躊躇されている方もいると思います。現地に赴くだけが支援ではありませんが、ソーシャルワーカーとして出来る事は必ずあ

ると思います。一方で、災害時にソーシャルワーカーを現地に派遣できるように自施設での体制を整える事も大切だと思います。

今回は活動中の葛藤や自分自身の気持ちの変化や迷いについても話をさせていただきました。自分自身の活動の振り返りの機会となりました。

私たちの活動だけが災害ソーシャルワークではないと考えていますが、現地で経験で

きたことをこれからも伝えていきたいと思っています。参加者の中には協力員として活動に参加して下さった方も数名おられ、懐かしい再会となりました。東北の地で一緒に活動したメンバーが、関西のいろいろな地域で頑張っておられる事が実感でき、こちらも元気をいただきました。企画をして下さった各県協会のみなさま、ありがとうございました。

## 2. 石巻現地から ～ 2017 年を送る ～

災害支援チーム

石巻現地責任者 福井康江



石巻市の仮設住宅の供与期限が次年度までとなり、そこに向けての大きな動きが続いている。11 月末現在で、市内に 132 ある仮設団地の内、71 団地が退去完了となり、順次解体も進んでいる。プレハブ仮設入居率は既に 2 割を切っており、最近、今年度中には 1 割を切るのではないかとこの話も聞こえてきた。

その反面、みなし仮設で暮らされている方の人数の方がプレハブ仮設入居者を上回り、そうした方々への支援の遅れが気になっているところである。みなし仮設で生活をされてきた方は、実により千差万別で、みなし仮設に入居となった経緯、そこでの思い、近所の方との関わりなど、お話を伺う度に震災からの時間の長さを身につまされている。

自立再建に向けて支援を行う中で、「いつ退去するのか」という課題を背負わされているように感じることもある。いつ、という時間に囚われてしまうことに対して、それを第一番に据えてしまうことの怖さを特に今年の後半からはより強く感じて来たように思う。

来年は、より時間に追われる一年になる事と思うが、そうした時だからこそ“その人”を主体とする支援の基本は紛うこと無く、また一歩着実に進んで行きたい。

### ～ 念願の地元スタッフを迎えることができました！！ ～

さて、今回新しいスタッフをご紹介できることとなり、石巻現地事務所は大きな喜びに沸いています。

総勢 4 名の現地スタッフとなりましたので、引き続き皆様方のご協力とご鞭撻の程、何卒  
よろしく願いいたします。



### 3. 新職員を迎えて

災害支援チーム

統括責任者 笹岡 眞弓



2017 年も押し迫ってまいりました。2011.3.11 から 7 回目のクリスマスです。バトン  
を渡し、受け継ぎ、石巻市で協会職員として活動して下さっているソーシャルワーカーも 13  
人を数え、この 10 月からまた 1 人ソーシャルワーカーが加わりました。

石巻市の渡波で被災された佐藤さんという女性です。

復興住宅への移行には丁寧な上にも丁寧な支援が必要です。終の棲家を決める時間も、  
十分ではありません。仮設住宅からなかなか移行できない方々には、様々な背景があります。  
ソーシャルワーカーの関与を必要とされている方々が多いことは、私たちならよく理解でき  
ます。

こうした時に、地元の人を当協会のチームに迎えることができたことは実に良かったと思  
います。福井さんをリーダーに、金崎さん、菊田さん、佐藤さんの 4 人の活動が、少しでも  
復興の伴走になることを、祈ります。

明日はクリスマスイブ。新聞ではシングルマザーの家庭の 3 割の人は、クリスマスなど無  
い方が良いと言っておられることが掲載されています。「家にはサンタクロースはこない」と  
3 人に 1 人が子どもに言わなければならないこの国にあって、石巻の方々がクリスマスを、  
そしてお正月を恙なくお迎え下さるように、心から願っています。

おりしも来年度の予算は生活保護費の削減をはじめとして、人々の生活にとって厳しいも  
のになるとのことです。ソーシャルワーカーである私たちは、公平で公正な世のために、自  
らを螻蛄の斧だと嗤うことなく、力を尽くそうではありませんか。

災害支援にはソーシャルワーカーが重要です。来年も応援してください。

## 4. 新職員自己紹介

### 災害支援チーム

石巻現地担当 佐藤 なおみ



はじめまして。10月より石巻現地職員に着任しました佐藤なおみと申します。着任して1か月が過ぎ、仕事にも少しずつ慣れてきました。

私は、石巻生まれ、石巻育ち、ずっと石巻に住んでいる“まきっこ”です。地元の高校を卒業後、販売の仕事をしていた24歳の時に東北福祉大学の通信教育学部に入学し、働きながら精神保健福祉士の資格を取得しました。その後、別分野の仕事をしていましたが、震災後に福祉の仕事を始めました。そこで、もう一度勉強しなおそうと、再び、東北福祉大の通信教育学部に編入し、社会福祉士の資格を取得しました。

初めての福祉の仕事は県北の町にある、地域活動支援センターでした。障害を持つ方の地域のサロンのような場所で、毎日のように地域住民の方々が寄ってくださり、“お茶っこのみ”していきような施設でした。

被災者支援であるこの仕事を始めてからも、住民の方々のお宅に訪問した時に、“お茶っこのみ”の時間が楽しみとなっています。震災前の昔の石巻の話題になると、すごく盛り上がる場合があります。そういう時にお互いに震災前の懐かしい話をしたかったのかなと感じます。そして、同じ地域で長年過ごして来た共通の体験を大切にしながら住民の方々と接していきたいです。

これからも災害支援チームの一員として、“復興”に向けて業務に貢献できるよう、頑張ります

震災前の渡波漁港



今月の渡波漁港



震災前の日和大橋たもとの景色



5. 災害支援チームからのお知らせ



【1. 書籍販売】

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅠ』、  
『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ』、  
『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅢ』  
『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅣ』の  
販売を行っています！



発災から 2011 年 9 月 30 日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録を『バトンⅠ』に、2011 年 10 月から 2012 年 12 月までの災害対策本部、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、現地 SW との協働の記録を『バトンⅡ』に、2013 年 1 月

から 2014 年 3 月までの災害支援チーム、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、虐待防止センターでの支援・石巻市社会福祉協議会での支援、現地 SW との協働の記録を『バトンⅢ』にまとめました。

そして新たに、この5月下旬に『バトンⅣ』を発行いたしました。

2014 年 4 月から 2016 年 3 月までの災害支援チーム、石巻市での復興公営住宅への入居支援・仮設住宅被災者自立生活支援・グループワーク支援・市民活動支援の記録です。

尚、売上げの全額を皆様からの寄付として、本活動の資金にあてさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。

(注文用紙はホームページからダウンロードできます)

バトンⅠ:URL: [http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=45](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45)

バトンⅡ:URL: [http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=50](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=50)

バトンⅢ:URL: [http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=54](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=54)

バトンⅣ:URL: [http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=59](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=59)

## 【2. facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

## 【3.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一



原さんが VTR にまとめて  
下さいました。YouTube に  
アップしましたので、是非  
ご覧ください。「医療ソーシ  
ヤルワーカー災害支援」で  
検索すると見つかります。

URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4>・feature=youtu.be



## 6. 災害支援ニュース発行のお知らせ

次回発行予定 3月中旬

## 7. あとがき

災害支援チーム事務局から

編集担当 菊田

東日本大震災が発災してから7年が過ぎました。石巻市では現在、市内56カ所の仮設住宅閉鎖に向けた動きがあります。そういった中、仮設住宅から再建先に向けての支援がより一層増えてきています。一つひとつのケースが困難であり、より専門職としてのスキルが求められてきていると痛感し日々業務に取り組んでいます。

又、挨拶文にもありました、佐藤なおみさんが石巻現地職員として平成29年10月21日付で入職されました。今年度の4月～10月までは福井さんと金崎さん、そして菊田の3人で現地スタッフとして石巻市内を日々慌ただしく回っていましたが佐藤さんが入ったことにより日々の業務や事務作業も含め少しの余裕が生まれたことに正直ホットしています。ホットした分、石巻市のために今まで以上に頑張っていきたいと思っております。



東日本大震災 MSW 災害支援ニュース  
平成 29 年 12 月 27 日 第 7 卷 (第 4 号)  
作成 日本医療社会福祉協会  
災害支援チーム事務局